

令和6年度主要事業について

【令和6年度 関係予算額】

4, 105, 068千円（前年度3, 690, 190千円）

政策Ⅰ	生涯・競技スポーツの普及・振興
政策Ⅱ	学校体育等の連携・充実
政策Ⅲ	スポーツによるまちの活性化
政策Ⅳ	指導者の養成と有効活用
政策Ⅴ	スポーツ施設・情報基盤の整備

I. 生涯・競技スポーツの普及・振興

1. 自律・自立的な地域住民の育成のための総合型クラブ支援

○総合型地域スポーツクラブ育成支援事業（予算額2, 400千円）

本市の生涯スポーツの振興の柱として「誰もが、いつでも、どこでも、そしていつまでも、スポーツを楽しめる環境づくり」として地域を基盤とした総合型地域スポーツクラブの育成・支援事業を積極的に推進する。

＜市内の総合型地域スポーツクラブ＞

- ①スポネット東郷（門司区）
- ②NPO法人北九州陸上クラブR i C（小倉北区）
- ③NPO法人TOTOS北九州（小倉北区）
- ④天神の丘スポーツクラブ（小倉南区）
- ⑤きくがおか健康スポーツクラブ（小倉南区）
- ⑥NPO法人若松サンシャインスポーツクラブ（若松区）
- ⑦NPO法人北九州スポーツクラブACE（八幡東区）
- ⑧NPO法人香月・千代スポーツクラブ（八幡西区）
- ⑨NPO法人戸畑コムスポ（戸畑区）

※平成22年度に市内7区全てに総合型地域スポーツクラブが設立された。

2. 市民のスポーツ活動機会の拡大・創出

○生涯スポーツ振興事業（予算額18,000千円）

① 生涯スポーツ振興

地域スポーツの普及振興を図るため、ニュースポーツ用具の整備及び区主催の各種交流大会を実施する。また、親子のコミュニケーションの促進や、校区単位での地域交流及びスポーツ振興を図るため、校区で開催するスポーツ行事に対する支援を行なう。

- ・ニュースポーツ交流大会の実施
- ・ニュースポーツの用具・備品整備
- ・スポーツ大会及び教室の開催

② スポーツ関係団体への支援

スポーツ関係団体の運営及び事業費等に対する支援を行い、団体の健全な発展を促進するとともにスポーツ・レクリエーションの普及・振興を図る。

<助成対象団体>

公益財団法人 北九州市スポーツ協会、特定非営利活動法人 北九州市レクリエーション協会、北九州市スポーツ推進委員協議会

③ 第62回北九州市民スポーツ大会

「市民皆スポーツ」をモットーに、市民のスポーツ・レクリエーションの祭典として「第62回北九州市民スポーツ大会」を開催する。（競技数：67種目）

3. 高齢者及び障害のある人のスポーツ活動・生きがいつくりの支援

(1) 障害者スポーツ振興事業（予算額51,760千円）

障害のある人のスポーツ教室、北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会、小学生ふうせんバレーボール大会等を開催する。また、各種スポーツクラブによる大会開催や選手派遣の費用に対し補助を行うなどの活動を通じ、市内障害者スポーツの振興を図る。

(2) 障害者スポーツ振興事業【指定管理】（予算額226,000千円）

障害者スポーツ振興の拠点として、障害のある人が安心して利用でき、健康・体力づくりから競技能力の向上まで、幅広いニーズに対応するとともに、全ての市民が健康づくり等のために気軽に利用できる施設の管理運営を行う。

<指定管理者制度の状況>

■指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年）

施設名 北九州市障害者スポーツセンター（アレアス）

指定管理者 北九州市障害者スポーツセンター運営共同事業体

4. トップアスリートの育成と競技スポーツの支援

(1) スポーツ大会選手派遣事業（予算額7,600千円）

① スポーツ大会選手派遣

国際・全国規模等のスポーツ大会等へ出場する選手を支援することにより、スポーツの振興や市民のまちに対する自信や誇りの醸成、地域のイメージアップを図る。

② 第67回福岡県民スポーツ大会選手派遣

県が主催し、県内4地区（福岡・北九州・筑後・筑豊）の持ち回り方式で開催している福岡県民スポーツ大会に選手団を派遣する。

- ・名称：スポーツフェスタ・ふくおか「福岡県民スポーツ大会」
- ・主催：スポーツフェスタ・ふくおか実行委員会（事務局：福岡県）
- ・開催地：筑豊地区

(2) 北九州市民スポーツ賞表彰（予算額900千円）

スポーツ振興と競技力の向上を図り、併せて市民意識の高揚に資するために、国際的・全国的なスポーツ競技大会で優秀な成績をあげた個人及び団体を表彰し、その栄誉を称える。

表彰の種類	表彰の基準
北九州市民スポーツ大賞 【令和6年の受賞者】 個人、団体ともに該当なし	・国際スポーツ競技大会で優勝した場合及びプロ・スポーツの選手として抜群の成績をあげた場合等、市民の誇りとなる個人及び団体。
北九州市民スポーツ賞 【令和6年の受賞者】 個人：10名、団体：1団体	・国際スポーツ競技大会での入賞又は全国スポーツ競技大会で優勝した個人及び団体。
北九州市民スポーツ奨励賞 【令和6年の受賞者】 個人：12名、団体：2団体	・全国中学校体育大会等で優秀な成績をあげた個人及び団体。 ・国際的、全国的なスポーツ競技大会で優秀な成績をあげた個人及び団体。

Ⅱ. 学校体育等の連携・充実

1. 部活動の支援・強化

○部活動振興事業（予算額81,245千円）

顧問教員を技術的にサポートする「外部講師（ボランティア）」や、教員に代わって、単独での指導や練習試合等への引率を行う「部活動指導員（会計年度任用職員）」を配置するとともに、NPOへ部活動指導業務の一部を委託するなど、顧問教員の負担軽減と指導体制の充実を図る。また、部活動の大会出場経費の一部を補助する。

さらに、部活動地域移行にかかる実証実践を行うとともに、その在り方を検討するため、有識者会議を立ち上げ、幅広く意見を聴取する。

2. 家庭や地域と連携した運動習慣等の定着

(1) 「わくわく体験」スポーツ教室（予算額9,000千円）

運動不足になりがちな冬季のスポーツとして、バランス感覚や柔軟性の向上に最適なアイススケートに小学生を無料招待する。併せて、無料招待事業を活用したスケート教室も実施する。

(2) 北九キッズスポーツマンズプロジェクト（予算額3,500千円）

11月の「秋のこどもまんなか月間」に合わせて同月を子どものスポーツ推進集中月間と位置づけ、スポーツ関係団体等が実施する子ども向けスポーツ教室などの情報を集約し、チラシ・SNS等で発信するとともに、多くのスポーツ競技が体験できる子ども向け体験型スポーツイベントを開催し、集中月間の機運醸成を図る。

Ⅲ. スポーツによるまちの活性化

1. 「みる」スポーツの機会創出

(1) ホームタウン推進事業（予算額58,000千円）

本市をホームタウンとする「ギラヴァンツ北九州」、「ボルクバレット北九州」、「日本製鉄堺ブレーザーズ」等の市民観戦事業等を行い、市民がスポーツに親しむきっかけづくりを行う。

(2) 「ギラヴァンツ北九州」の支援（予算額35,000千円）

本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援し、プロスポーツを通じたスポーツ振興により、地域経済の活性化やシビックプライドの醸成を図る。

(3) スポーツコミッション事業（予算額7,000千円）

スポーツによる都市の魅力向上・まちの賑わいづくりや市外からの誘客に繋げるため、「スポーツツーリズム」の促進や観光資源を活用したスポーツ観戦等のコンテンツ創出のためのモデル事業、若者に人気の高いブレیکنを中心としたアーバンスポーツ普及に向けた実証事業等を実施する。

(4) 第36回選抜女子駅伝北九州大会（予算額18,000千円）

国内トップレベルの実業団・大学・高校チームが、同一の距離で競う駅伝大会を開催し、陸上競技のレベルアップと市の活性化を図る。

- ・期 日：令和7年1月19日（日）予定
- ・コース：小倉北区（小倉城歴史の道）～戸畑区～八幡東区（折り返し）約27.2km
- ・区 間：一般の部（実業団、大学）5区間、高校の部6区間

(5) 北九州マラソン開催事業（予算額74,040千円）

本市の魅力の全国への発信やまちの賑わいづくり、スポーツの振興等を図るため、市民マラソン大会を実施する。

- ・期 日：令和7年2月16日（日）
- ・種 目：マラソン、ペアリレーマラソン、ファンラン、(新) 20.7kmマラソン

(6) 令和6年度全国高等学校総合体育大会開催事業（予算額35,000千円）

高校生のスポーツの総合体育大会である全国高等学校総合体育大会（インターハイ）は、令和6年度に福岡県を含む北部九州4県で開催されることが決定している。このうち本市では、「体操（体操競技・新体操）」、「自転車競技（トラックレース）」の2競技（3種目）を開催する。

① 体操競技

- ・期日 令和6年7月29日（月）～8月1日（木）
- ・会場 北九州市立総合体育館

② 新体操

- ・期日 令和6年8月5日（月）～8月7日（土）
- ・会場 北九州市立総合体育館

③ 自転車競技（トラックレース）

- ・期日 令和6年7月25日（木）～7月28日（日）
- ・会場 北九州メディアドーム

(7) 大規模国際スポーツ大会等誘致事業（予算額160,000千円 補正予算含む）

本市における生涯スポーツの振興や国際交流の推進及び街の賑わいづくり等に大きな効果が期待できる大規模国際スポーツ大会や代表チームの事前キャンプの誘致・開催支援を行う。

あわせて、各競技団体への大会等誘致活動のためのプロモーション事業を展開する。

《令和6年度に開催される国際大会等 ※5月末時点》

① バレーボールネーションズリーグ2024福岡大会

- ・期日 令和6年6月4日（火）～令和6年6月9日（日）（男子）
令和6年6月11日（火）～令和6年6月16日（日）（女子）
- ・会場 西日本総合展示場新館

② 2024体操ニッポンGALA

- ・期日 令和6年9月29日（日）
- ・会場 総合体育館

③ ツール・ド・九州2024 小倉城クリテリウム

- ・期日 令和6年10月11日（金）
- ・会場 小倉城周回

- ④ 第2回FIGパルクール世界選手権
 - ・期日 令和6年11月15日（金）～令和6年11月17日（日）
 - ・会場 勝山公園内特設会場

- ⑤ WTT男女ファイナルズ福岡2024
 - ・期日 令和6年11月20日（水）～令和6年11月24日（日）
 - ・会場 総合体育館

(8) ウェールズレガシープログラム推進事業（予算額300千円）

ラグビーワールドカップ2019の事前キャンプの実施を通じて深まった、本市とウェールズラグビー協会との友好協力関係を更に発展させ、シビックプライドの醸成や、まちのさらなる活性化を図るため、レガシー協定に基づき、市民交流イベント等を実施する。

IV. 指導者の養成と有効活用

1. スポーツ指導者等の育成と活用の場づくり

- レクリエーションインストラクター養成講座（予算額600千円）
 - ・期日：令和6年6月2日（日）～令和7年2月9日（日）全9回
 - ・対象：レクリエーション指導に興味のある方
 - ・人数：約20名

2. 施設管理者との連携

- スポーツ施設の運営管理（予算額1,737,512千円）※直営含む

(1) 指定管理によるスポーツ施設の運営管理費（予算額1,652,443千円）

スポーツ施設の管理運営に、指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用した市民サービスの向上と管理運営の効率化を目指す。

<指定管理者制度の状況>

- 指定期間 平成29年2月1日～令和14年3月31日（15年2ヶ月）

施設名 ミクニワールドスタジアム北九州（北九州スタジアム）

指定管理者 （株）ウインドシップ北九州

- 指定期間 平成31年4月1日～令和7年3月31日（6年）

①施設名 北九州市民球場等2施設

（北九州市民球場、三萩野球場（少年球場含む））

指定管理者 北九州野球（株）

②施設名 福岡トヨタ的場池スタジアム（的場池球場）等3施設

（福岡トヨタ的場池スタジアム（的場池球場）、的場池弓道場、的場池体育館）

指定管理者 （株）スピナ

③施設名 新門司球技場等3施設（新門司庭球場、新門司運動場、新門司球技場）
 指定管理者 NPO法人北九州フットボールクラブ

■指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）

①施設名 総合体育館等24施設
 指定管理者 （公財）北九州市スポーツ協会

○総合体育館			
○八幡東体育館（7施設）		○鞆ヶ谷競技場（2施設）	
高炉台球場	城山球場	都島球場	
黒崎体育館	城山庭球場	○若松体育館（4施設）	
城山体育館	城山アーチェリー場	若松武道場	小石プール
藤ノ元プール			
○折尾スポーツセンター（10施設）			
沖田プール	木屋瀬プール	上津役プール	大池プール
折尾プール	八幡西柔剣道場	香月中央庭球場	香月中央運動場
香月スポーツセンター			

②施設名 門司体育館等26施設
 指定管理者 北九州スポーツネットワーク共同事業体

○門司体育館（12施設）		○小倉北体育館（5施設）	
門司球場	門司青少年体育館	小倉北柔剣道場	三萩野体育館
新門司温水プール	門司庭球場	勝山弓道場	三萩野庭球場
和布刈塩水プール	田野浦庭球場	○大庭産業アリーナ（小倉南体育館） （9施設）	
大里プール	大里柔剣道場	小倉南庭球場	紫川河畔庭球場
松ヶ江プール	門司弓道場	城野体育館	朽網プール
新門司体育館		小倉南武道場	曾根体育館
		紫川河畔プール	吉田太陽の丘庭球場

③施設名 グローバルマーケットアクアパーク桃園（桃園市民プール）等6施設
 （グローバルマーケットアクアパーク桃園（桃園市民プール）桃園球場、桃園運動場、桃園庭球場、大谷球場）
 指定管理者 スピナ・シンコースポーツ共同事業体

④施設名 黒崎播磨陸上競技場 in HONJO（本城陸上競技場）等3施設
 （黒崎播磨陸上競技場 in HONJO（本城陸上競技場）、本城球場、本城運動場）
 指定管理者 スポーツパークパートナーズ本城共同事業体

⑤施設名 ひびきコスモス運動場等4施設
 (ひびきコスモス運動場、若松庭球場、若松球場、若松球技場)
 指定管理者 (株)スピナ

⑥施設名 第一警備スポーツセンター戸畑 (浅生スポーツセンター)
 指定管理者 戸畑スポーツコミュニティ共同事業体

■指定期間 令和3年4月1日～令和7年3月31日 (4年)

施設名 曽根臨海運動場
 指定管理者 (株)スピナ

(2) 直営によるスポーツ施設の運営管理費 (予算額85,069千円)

- ①施設名 文化記念プール等3施設
 (文化記念プール、文化記念運動場、文化記念庭球場)
- ②施設名 桃園武道場 (柔剣道場、弓道場)
- ③施設名 響南体育施設 (運動場、格技場)

V. スポーツ施設・情報基盤の整備

1. 身近なスポーツ施設の充実

(1) スポーツ施設のユニバーサルデザイン化 (予算額33,916千円を含む)

高齢者や障がいのある方など、誰もが気軽にスポーツ施設を利用できるように、施設の段差の解消など、ユニバーサルデザイン化を進める。

【主なユニバーサルデザイン化】

年度	施設名	整備内容
R5	桃園球場・グローバルマーケットア クアパーク桃園 (桃園市民プール)	トイレ洋式化、手すり設置
R4	桃園球場、若松体育館プールなど	トイレ洋式化、手すり設置、段差解消等
R3	文化記念庭球場、若松体育館、門司 体育館など	トイレ洋式化、手すり設置等
R2	北九州市民球場、黒崎体育館	トイレ洋式化等
R1	第一警備スポーツセンター戸畑 (浅 生スポーツセンター) など	温水洗浄便座整備・視覚障害者歩行誘導ソ フトマット

(2) 体育館（予定避難所）空調設備整備事業（予算額442,400千円）

利用者の暑さ対策や災害時の避難所環境改善のため、避難所となっている体育館について、空調設備を整備する。

【令和6年度分工事】 小倉北体育館、大庭産業アリーナ小倉南（小倉南体育館）、
的場池体育館

【令和7年度分実施設計】 新門司体育館、曾根体育館、八幡東体育館

(3) 若松体育館等改修事業（予算額168,489千円）

PCB廃棄物処理事業の継続を受け、若松区を中心とした地域振興策として、若松体育館、若松武道場、折尾スポーツセンターに空調設備を設置する。

(4) スポーツ施設の整備（予算額459,227千円）

スポーツ施設の老朽化等への対応や機能向上を図るための改修工事、維持管理の中での修繕工事などを行なう。主な改修工事は以下のとおり。

- ① 若松体育館外壁及び屋根等改修工事
- ② 香月スポーツセンター外壁改修工事
- ③ 鞘ヶ谷競技場スタンド擁壁改修工事
- ④ 新門司競技場トイレ設置工事
- ⑤ 新門司温水プールFRP補修工事
- ⑥ 小石プール（幼児プール）改修工事
- ⑦ 城野体育館耐震補強工事

2. 公共施設マネジメントの推進

○モデルプロジェクト再配置計画（大里地域）の推進（予算額80,700千円）

（内訳 スポーツ振興課：67,700千円、みどり公園課：13,000千円）

モデルプロジェクト再配置計画（大里地域）における、スポーツ施設ゾーンの複合公共施設を整備するため、事業手法の設定や実施段階に向けて必要となる調査・設計等を行う。

また、花見広場の整備のため、健康遊具の設置を行う。